

第2回

みんなで皆野

まちあこし万博

報告書



2026

02.22

Sunday



当日の様子を動画で
見たいかたはこちら

目次



報告は町ホームページ
でもご覧いただけます

はじめに	3
開催主旨	4
基調講演	5

section 1

活動報告

地域おこし協力隊&インターン活動報告	6
地域と森林のつながりづくり	6
多世代交換日記事業	6
皆野教育シンポジウム	6

section 2

パネル展示

地域おこし協力隊	7
株式会社デジタルラボминаの	13
地域活性化起業人・集落支援員	14
早稲田大学人間科学学術院	14
ものづくり大学	15
立正大学データサイエンス学部	16
十文字学園女子大学	17
世界一周大学	18
オフィスプラス株式会社	19
株式会社ウッディーコイケ	20
Freaks Garage	21
RIZAP 株式会社	21
明治安田生命保険相互会社	22
移住者	23

section 3

会場の様子

ワークショップ、グルメ出店	27
---------------	----

はじめに

町は、令和8年度を計画の始期とする「第3期皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。前例踏襲ではなく、町の将来に向け、町はもちろんのこと町民や町内事業所、地域外のかたがたも巻き込んだ取組が進められるようにすることを意識しました。

また、国の地方創生2.0基本構想では、『地方創生2.0は、国と共に、地域の住民や産官学金労言士などが一体となって実現を目指すものであり、「みんなで取り組むもの」、「みんなで実現を目指す社会像」である。そのため、目指す姿を共有し、共通の理解の下で進められることが重要である。』と示されています。こうした背景から、皆野町としては初めて町のビジョンおよびスローガンを設定しました。

ビジョン

1人ひとりが主役になり、みんなで幸せを育む町

スローガン

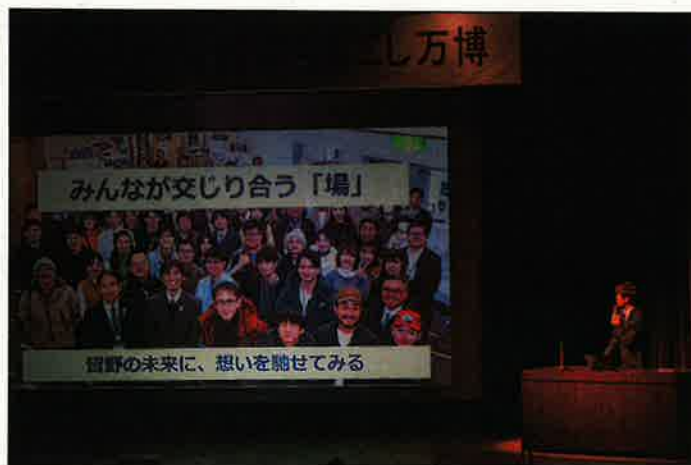
#みんなで皆野

人口減少時代を迎え、これからの地域づくりは“みんなでまちおこし”を合言葉に、助け合い、手を取りながら進める必要があります。

「みんなで皆野まちおこし万博」は、地域おこし協力隊の取組や移住者の暮らし、大学や企業と連携した地域活性化の取組などを紹介するとともに、基調講演やセミナーを通じて、一人ひとりがまちづくりを自分事としてとらえ、多様性を受け入れ新しいチャレンジが尊重される明るい風土を作ることを目的として開催したものです。



開催主旨



私は皆野町のまちづくりにおいて、職員と町民の皆さんが自ら手を挙げ、新しい挑戦に関わっていく姿勢を何より大切にしています。

町の取組を進めるにあたり、外側への発信、いわゆる「アウトプロモーション」ばかりに目を向けるのではなく、まずは町民や町内事業者といった内側に向けた情報共有や意識づくり、いわゆる「インナープロモーション」を重視しています。町の状況や課題、取組の意図を共有することが、共感や自発的な参加につながり、地域全体の動きを支える土台となります。

私は、小さなチャレンジから始めることが重要だと考えています。参加のハードルを下げ、より多くの人に関わる中で、一人ひとりが小さな成功体験を重ねていく。そうした積み重ねが、まちづくりを自分ごととして捉える人を増やしていきます。

現在、町では地域おこし協力隊や地域活性化起業人、集落支援員といった多様な立場の人たちの挑戦が、新たな動きを生み出しつつあります。地域おこし協力隊も少人数から始まり、経験を重ねた隊員の取組が広がることで、現在は 12 人体制となりました。祭りや地域行事への参加、地域の魅力発掘、生涯学習、子どもの居場所づくり、移住支援、有害鳥獣対策、観光の活性化、デジタル化支援など、さまざまな分野で地域とともに歩みを進めています。

一人ひとりの試行錯誤の積み重ねが、町を少しずつ前へと進めています。

私が特に大切だと考えているのは、「外からの新しい視点」「内からの挑戦」「町を支えてきた経験」が交わることです。そして、そのために必要なのは、「知ること」です。どれほど良い取組であっても、知らなければ関わることはできません。

地域おこし協力隊が中心となって始めた「みな FES」に足を運んでみる。「スマホ・パソコン相談会」でわからないことを聞いてみる。子どもも大人も一緒に食卓を囲む「みーなちゃん食堂」で食べてみる。まちの人の特技や想いに触れられる「みんなのしあわせ図鑑」を読んでみる。そうした一つひとつの体験が、まちづくりを自分ごととして捉えるきっかけとなっていきます。

私は、この万博を、単なる報告の場ではなく、町民や外部の関係者が思いを交わし、交じり合う場にしたいと考えています。立場や経験の異なる人たちが交わることで、新しいアイデアや協力関係が生まれ、町の未来をつくる力となります。

まずは知ること、関わること、体験することから始めましょう。その一步が、皆野町のこれからを動かしていく力になると考えています。

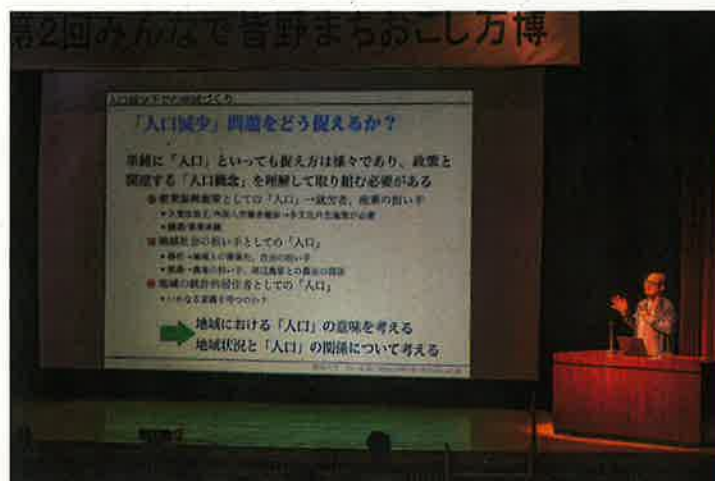
皆野町 皆野町長 黒澤 栄則

田口 太郎 氏

経歴：

徳島大学大学院教授。早稲田大学工学部建築学科、同大学院修了。博士(工学)。専門は都市計画、まちづくり。

総務省「これから移住定住のあり方に関する検討会」委員、農水省「長期的な土地利用のあり方に関する検討会」委員など歴任。自身も徳島県下の農村に移住し、生活しながら研究、実践を行なっている。



「人口減少下での地域づくり～外部の力も借りながら、地域の底力を強くする～」

私はこれまで、多くの地域が「アウトプロモーション」に偏りすぎていることに違和感を持ってきました。私自身、各地で『本来重要なのは、地域に暮らす人自身の生活を豊かにする「インナープロモーションである』』というお話をしてきましたが、実際に町長が「インナープロモーション」という言葉を使うのを聞いたのは初めてで、大変嬉しく思いました。地域の魅力は外に向けて作るものではなく、内側での暮らしや関係性の中から自然に生まれるものです。日常の中での交流や小さな活動の積み重ねこそが、地域の本当の価値と持続性を育てていきます。

また、人口減少を過度に恐れる必要はありません。極端に言えば、活気のない5,000人より、生き生きと暮らす2,000人の方が価値がある。地域と関わり、支え合える人がどれだけいるかが重要であり、外からの関わりも含めて人の質とつながりを重視した地域づくりが求められます。

これからの地域づくりは、「人を増やすこと」ではなく、「地域に合う仲間をどう迎え、活かすか」が重要になります。定住にこだわらず、関係人口を広げていくことが鍵です。同時に、地域の慣習や仕組みを見える化し、必要に応じて見直していくことも欠かせません。まずは安心・安全といった基盤を整えることが前提です。その上で、楽しさややりがいを取り入れながら交流や活動を生み出していくことが重要です。多くの地域が感じている「このまま続くのか」という不安は、衰退がゆっくり進むために行動のきっかけをつかみにくいことにあります。だからこそ、再生するのか、衰退するのか、あるいはうまく着地するのか、早い段階で将来像を考える必要があります。

その中で、地域おこし協力隊のような外部人材は大きなきっかけになります。外から来た人との対話を通じて、「なぜここに来たのか」という視点から地域の価値に気づき直し、自信を取り戻すことができるからです。ただし、地域おこし協力隊は公共的な役割を担う存在であり、地域と十分にコミュニケーションを取りながら役割を果たすことが不可欠です。時には率直に意見を伝え合う関係を築くことも重要です。

そして最も大切なのは「代謝」の視点です。同じ人が固定的に関わり続けることが持続ではなく、人が入れ替わりながら新しい状態に更新されていくことこそが本当の持続です。そのためには、強すぎる結束ではなく、外から人が入りやすい「緩やかなつながり」を意識的につくる必要があります。

最終的に目指すべきは、外部人材に依存するのではなく、地域自身が主体的に動ける状態をつくることです。また、人の流出を否定するのではなく、外に出た人とも関係を保ち、「また関わってほしい」と言える関係を築くことが重要です。人の循環と関係の更新が、新しい地域の可能性を広げていきます。今まさにそのきっかけがある中で、地域がどう変わっていくかが問われているのです。

活動報告



地域おこし協力隊&インターン活動報告

普段の活動や町民と協力して行なった取組、デジタル化支援の実績などを発表しました。取組に関わった町民と再会し談笑する様子も見られました。



地域と森林のつながりづくり —ものづくり大学

ものづくり大学の学生は、「森林管理者の担い手不足」に焦点を当て、課題解決のために町民といっしょに行なった取組などについて紹介しました。来場者の中には「金沢地区の清掃活動に携わったため発表を聞きに来た」という町民も。



多世代交換日記事業 —早稲田大学

早稲田大学と連携して取り組んだ交換日記事業。中学生、若者、高齢者の3世代が手書きの言葉で交流を図り、心の距離を縮めることができました。

皆野教育シンポジウム —町教育委員会

皆野教育シンポジウムでは、皆野中学校の生徒、企業、地域住民が一体となって「住み続けられるまちづくり」のために討論しました。その思いや成果を発表しました。



パネル展示

「地域おこし協力隊」とは



制度概要

どんな制度なの？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民を異動し、地域ブランドや地域産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林業などへの就労、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

活動経費は？

地域おこし協力隊の活動経費は、国から「特別交付税」として市町村に措置され、所属する市町村を通じて協力隊へ支払われます。

皆野町に何人いる？

令和8年2月現在、皆野町には12人の地域おこし協力隊がいます。

地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取り組み～

地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 価値観と異なる暮らしや生きがいの発見

地域

- 新たな集客点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊の創意と行動力が地域に大きな刺激を与える

地方公共団体

- 行政にはできなかった農林業・地域おこし
- 住民が増えることによる地域の活性化

皆野町に到着

外部人材の活用に関する皆野町の方針

方針

「まちづくりの合言葉『みんなで皆野』の実現のためには、町、町民、町内事業者だけでなく、多様な人材の参画が必須です。町外からの目線だからこそ気付ける皆野町の強みや弱み、良さやポテンシャルを各々の得意分野に結び付け、町民の幸せの向上や町の将来のために活かしていただける人材を積極的に活用していきます。

地域の魅力発信、こどもの居場所づくり、移住促進、シニアの活用、観光の活性化、地域のデジタル化支援など、予算を計上した各分野において職員が積極的な活動を展開できるように取り組めます。

考え方

当町にあっては、人口減少・少子高齢化により、いわゆる「地域活動の担い手」の減少が懸念されています。また、家族の形態や生活様式、就業スタイルも変化し、住民ニーズが多様化しています。例えば、現役世代の減少による地域イベントの担い手不足、移住促進や高齢化対策の推進によるこどもの居場所の減少、デジタル化や新しい働き方への対応、後継者不足による就農者の減少や地元商店の継承困難などがあげられます。

いずれも行政的な課題として捉えられますが、町の人的・財政的資源は有限であり、すべてのニーズに町だけで対応することは困難です。一方で、これらの課題には住民による取組や、皆野町を思い広げる外部人材による活動でもアプローチが可能な面もあります。

こうした課題に対し、得意分野や強みを活かして独自の目標からアプローチできる立場として、地域おこし協力隊や地域活性化対策、就業支援が必要と。町だけでは担えない課題に対し、町職員より自由度を高めることも町と連携しながら、住民を巻き込み、住民目線や民間目線でも取り組めると考えています。

なお、国でも地域おこし協力隊の積極的な活用を推進しており、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」においては、令和5年度時点の7,200人から、令和8年度までに1万人とする目標を掲げています。なお地域おこし協力隊の活動に係る委託料、活動経費、募集経費は国費で措置されています。

以上のように、独自の計画で、得意分野を活かして皆野町に協力してもらえ、かつ財源が措置されるような人材は、町民の幸せの向上や行政機能向上のためにも今後も積極的に活用していきます。



HISTORY OF CHIKIOKE

皆野町地域おこし協力隊の軌跡



協力隊の活動

協力隊が町内で実施している活動やイベントのご紹介です。趣に参加された方も、まだ参加されたことがない方も、今後の参加をお待ちしています！

協力隊の活動はInstagramにて発信しております。みなさんのコメントや、イベントの開催などお知らせいたしますので是非チェックください！



みなFES

町内外に地縁おこし協力隊の活動を知ってもらい、町民と地域おこし協力隊が気軽に交流できる場を目指して行っているイベント。令和6年11月からスタート。令和7年2月、6月、8月、11月とこれまで計5回開催されている。これまで、「カキ小屋」「水かけ祭り」「フリーマーケット」「プロジェクションマッピング」など、様々なコンテンツを展開し、昨年11月に開催した「みなFES vol.5」では約400人が来場。



MINANO SUMMIT

MINANO SUMMITは地域おこし協力隊が立ち上げた新たな会議型交流会。皆野で活躍している事業者の方々、役場職員や皆野の高校生、町と連携しているものづくり大学や世界一周大学、秋田地域全域からも人が集まる。始めの一歩は皆野町をよくするための議題について議論し、交流会に移る。令和6年5月から毎月実施しており、今では30名弱の人たちがみなFES2階に集まっている。

同会議のコンセプトは「やりたい事を発信し、仲間を求め、行動に起こせる場。」そしてルールは2つ。

1. "BE FLAT" 役場、事業者、協力隊、高校生、世代、立場は抜きにしてフラットに話をしよう。
2. "WELCOME STUPID IDEA" バカな意見、発言、大歓迎！ 俺を蹴っ飛ばしてどんな意見交換しよう。



餅つき大会

地域おこし協力隊主催の餅つき大会！令和7年1月11日に第一回、令和8年1月12日に第二回を開催。バス待ちの登山客や地域の皆様にきたてのお餅を振る舞った。「よいしょー！」の掛け声とともにつかる餅。来場者からも「つきたてのお餅なんて久しぶりに食べた！」「子供連に餅つきを経験させることができた」など大いに楽しかった。



みんなの部活

「みんなの部活」とは大人も子供も入れる学外での部活動プラットフォーム。埼玉県秩父郡皆野町にあるみなFES2階に拠点を置いています。どなたでもご参加可能！過去にはNHK「午後LIVE ニュース」にて取組が紹介されたことも！

【部活一例】ギター部、初心者俳句部、ウミガメのスープ部、ボカー部、片付け部、アーシング部 など



皆野町にきた経緯

34歳の男。10年間勤めていた会社を辞め、日本派遣の旅に出ました。旅中中盤に差し掛かり、偶然、皆野町に住んでいた友人の家で過ごそうらに、町のゆったりとした空気感や陽射しの美しさを見て「小さいけれど幸せだと感じる瞬間がそこかしこにある」と感じました。町の人と交流していかなく、旅を辞めてでもこの町に住みたいと思ったのがきっかけです。今新たに訪れている人達にもその感覚をもった人が皆野町に魅かれてきていてと感じます。



経歴

アメリカ生まれ。オーストラリアとイギリスで育ち、高校からは日本に本帰国しました。慶應義塾大学では社会デザインを研究し、卒業後は半導体製造装置メーカーの海外営業として10年間勤務。退職後「もっと日本の景色を見たい知りたい」と思い、車を借りて日本全国を1年半ほど回っていました。旅の中で得た「暮らし」を知る。そここそが地域のファンを作る事に肝要だと考えています。

皆野町の好きな所

皆野町は「ありのままの自分」でいられる町だと思います。東京と違い、無理に自分を押し通さなくても、本来の自分に居られる町です。また観光地のように「何かがあるか」といわれそうでもないし、「何もない」というほど田舎でもない、「ちょうどいい」があります。雪が好きなので、会津川太や秋田音頭などの文化的側面が好きです。文化も今後大切にしたいテーマだと考えます。



皆野高校のサポート

令和6年度から学校運営協議会の一員として皆野高校で取り組んできました。生徒達の「やりたい」を実現する為、自分の夢を書き出して発表する授業や、文化祭、体育祭、観光プロジェクトのサポートをしました。今では皆野高校が地域おこし主催のみなFESや餅つき大会に自らボランティアに来てくれる様です。開校まで旅らと仲走りしていきます！



秩父音頭まつりを盛り上げました！

秩父音頭まつりの新たな賑わいの場を創出するため、「みんなのあつち」をテーマに「皆野タイムスリップ横丁」を企画しました。大学生60名が9店舗を開店し、矢野百貨店の「エンゼル焼き」を無料、おこうしのお母さんが「焼きそば」を焼いたり、地域と協力してまつりを盛り上げました。



大学生と町民の関係づくり

町と協定を結んでいる「世界一周大学」や「ものづくり大学」をはじめとした大学生達と一緒に地域活動をしています。誰でも参加でき、皆で賑を囲みながら井戸端会議をする「おあがなべ」もインターンの学生が考案し、実行までサポートしました。また地域の体育大会や、皆野高校のプロジェクトにも大学生と活動しています。地域内外が交流できる場や機会を作っています。

活動内容

町民に一言

ローカルだからこそ、出来ることがある！！



課題・悩み

- ・地域の課題や、少額の声を丁寧に取り上げる「対話の場・機会」が不足している
- ・地域の底力を高め、外貨を取り込む仕組みが十分に整っていない(特に、来訪者向けの宿泊施設の不足)

今後の展望・目標

- ・ゲストハウス「みんなの居場所」：地域内外が自然に交流できるコミュニティ拠点を整備し、交流人口の増加と、外貨獲得の仕組みづくりを行う。
- ・フリマ・マルシェの開催：町民の「得意」「やってみたい」を形にし、挑戦・販売・発信できる機会の創出する。
- ・既存資源のPR・再編集：保田、奥の山、秩父音頭など、皆野町が持つ文化的・自然的資源を活かし、新しい切り口で伝えることで町の魅力を再発見・発信する。
- ・町民一人ひとりが「皆野町が好き」と心から言えるまち。どの世代でも、自分らしく、ありのままに居られる居場所がある。その為に、地域内外の力を掛けあわせ、町の輝きや賑わいに向きあい、持続可能な仕組みを目指す。

人生にゆとりを！



てぬま いよ
出沼 惟代
【コミュニティづくり・地域の魅力発信】

生年月日 1994年11月11日
出身 東京都
活動 YouTube
資格 いよ
趣味・特技 片付け、DIY
マイホーム リサイクルショップで売り

皆野町にきた経緯

秩父には、キャンプや神社巡りなどの観光で10年ほど通っていました。

令和4年から秩父市の親戚宅に住み、皆野町民の方の一宮と、去年のまちおこし万博をきっかけに、連日の田舎暮らしとコミュニティづくりができてと感じ皆野の協力等に応募しました。

経歴

中学卒業後は、アルバイトや資格勉強(宅建)に取り組みました。趣味のキャンプやバイクの活動を配信するYouTubeに挑戦し、登録者が20万人になりました。自然の近い暮らしに憧れて秩父市に移住し、秩父の田舎暮らしの魅力をYouTubeで配信しました。



皆野町の好きな所

荒川が流れていること、そしてお神輿文化や盆踊りが地元の人々で盛り上がりを感じました。でも、地元にはない大自然での川遊びや空、星空、味噌ポテト、鮮やかな野菜、それから個性豊かな方が沢山いて毎日楽しくて飽きません。



フリーマーケットの開催

"自らモノを整理し片付け、巡らせる楽しさ"を味わってもらうためにフリーマーケット1くるくるフリマを企画しました。町民から集めた物品を10月のふれあいまつりで販売したり、みなFES vol.5では、出店者を募集し、町内外から6組が出店して、寒風モノが巡る場作りを実現できました。なお、売上金に関しては子ども会堂に寄付しました。



片付けサポート部

片付けサポート部は、空き家や空き店舗の活用を考えている方を中心に、片付けの"最初の一歩"をお手伝いしています。空き家を活用したくても、家の中に物が残ってすぐに使えないケースは多く、残置物の管理が大きな障壁になっています。片付けは気が重い作業ですが、誰かと一緒に取り組むことで前向きに進められることもあります。人形供養や軍用などの気遣い相談にも対応しております。また、片付け中にへそくりが見つかるなど、思いがけないサプライズがあることも！楽しみながら取り組める人が増えるよう、今後もサポートしていきたいと思っています。

活動内容



日野沢地区との繋がり

町民の方に声をかけていただき、日野沢地区町民体育大会へ参加しました。その後日野沢廃品回収や遊歩道整備に参加。その他に、日野沢大神社の神楽や大山神社の獅子舞なども拝見し、貴重な伝統芸能を撮影。編集したYouTubeに日野沢の魅力を発信しました。

町民に一言

趣味は片付け。
断捨離、お手伝いします♡



課題・悩み

現在、町外の方を中心に皆野のファンが増え、イベント参加やSNS経由の来訪も広がっています。一方で交流のできる宿泊施設が不足しているため、気軽に訪れられる場づくりを進め、今後は活用可能な空き家所有者とのつながりを築いていきたいです。

今後の展望・目標

この1年皆野町で活動していく中で、皆野の好きな場所や人、景色、沢山のお気に入りがあり、今後の活動拠点となる物件にも出会いました。令和8年3月末で協力隊は退任予定ですが、4月以降は事業家としてYouTubeを通じて町おこしに取り組み、大好きな皆野町をより一層盛り上げていきたいと思っていますので今後ともよろしくお願いします！

うさぐわ たくろう 宇佐川 拓郎

【生涯学習の推進・地域の魅力発信】

生年月日 1990年9月28日
出身 北海道
活動 地域おこし協力隊
資格 うさぐわ
趣味・特技 楽器、動画
マイホーム 新築

すべての若者よ大志を抱け

皆野町にきた経緯

前職は、小規模地域おこし協力隊として活動していました。その中で、生涯学習の場作り「みんなの学校」に取り組みました。旧校舎や公民館を拠点に、地域の色々な方が自身の趣味や特技に応じた「学びの場」を主宰する支援をしたり、プログラムを作り展開したりしていました。任職満了に伴い道庁を辞職した際、皆野町でもそうした生涯学習の場作りや趣味・特技を軸にした住民の方の人生・地域の生きがい・繋がり作りが求められていると知り、応募をさせていただきました。

皆野町の好きな所

地域毎に特色が異なり、文化が多様なところ。住民の方々が温かくて優しく、自然体なところ。古き文化を大切にしながら新しい文化も受け入れるような、寛大で柔軟なところ。

経歴

大学卒業後、東京都で小学校教員を5年間勤務。その後、国外の教育現場に関心をもち、教育や福祉にも力を入れ「専攻度が高い」北欧のデンマークに留学。現地では、学校教育以上に、成人教育を体験し肌で学ぶ。こうした経験をもとに、地域社会の中で生きがい作りやコミュニティ作りにも寄与する「教育的な活動」がしたいと考えていたところ、縁あって秩父地域と出会う。



みんなのしあわせ図鑑

町民にスポットを当てて、趣味・技術・仕事・まちづくり・思い出・人との繋がりなど、一人ひとりの人生経験や地域での暮らしを取材し冊子にまとめ、町民に共有していく取組です。10月に駒形区の町民2名を取り上げた冊子号を発行しました。現時点で700部発行し、配布をしました。今後も町民への取材を進めて定期的に発行していく予定です。



駒形区ふれあい祭り支援

「駒形区ふれあい祭り」の6年振りの開催をサポートしました。駒形区の方と話し合いながら、案内の催し物として「しあわせ日曜大会～駒形で繋がる広がるみんなの輪～」を企画運営し、特技の披露など町民が活躍できる場を作りました。8名の方と2団体が、特技や活動を披露しました。また、およそ50名の方が参加されました。

活動内容



世代を超えた学びの場づくり

しあわせ図鑑で取り上げた町民の方の「子どもたちへ教えたい」という願いと、皆野小学校の「林間学校で踊るフォークダンスの練習を教えてください」というニーズを繋げて、5年生の授業の場で、世代を超えた学びの場を作りました。

町民に一言
町のこと、昔のこと、ご経験や趣味、技術やお仕事のことなど、どんなことでも、教えてください！



課題・悩み

・関係性づくりや趣味・技術をもった方の発掘に時間を要し、しあわせ図鑑の定期的発行に至らなかったこと。
・また、関係性づくりや地域の課題把握に時間を要し、世代を超えた「生涯学習の学び合いの場」を定期的ににつくることができなかったこと。

今後の展望・目標

・「みんなのしあわせ図鑑」の隔月発行（地区毎・テーマ毎・仕事に応じて）
・生涯学習の学び合いの場作り「みんなの学校」の定期開催（各小学校／行政区毎・公会堂等／総合センター／福祉施設／各事業所と連携）





自分らしく！

ぬまこ せいこう 沼子 静煌

【子どもの居場所づくり】

生年月日 1976年11月13日
出身 東京都豊島区
職業 通訳・通訳後援
資格 セイコー
趣味・特技 読書、料理
マイブーム 読書

町民に一言
子育て中のママの味方です！
お気軽にご相談ください。



皆野町にきた経緯

都市部は災害に脆弱で、電気が止まっただけで全ての機能が停止してしまいます。田舎を避難所や自給の場として捉えるコミュニティを立ち上げ、今から3年前に人口の少ない皆野町を選び、畑を借りて2拠点生活をはじめました。そのコミュニティには地元の方との交流も必須と感じ、2年前より「み～なちゃん食堂」の運営を開始しました。

経歴

主人・高3級・中2級（不登校）の4人家族です。令和5年3月・2拠点生活を始めると同時に「秩父みんなの村」を発足させました。現在メンバー40名、畑やツツや情報交換を行っています。令和5年12月：み～なちゃん食堂を開始しました。令和7年4月：協力隊に任命され、まんげつ食堂、大豆と小麦の会等の運営に携わっております。

皆野町の好きな所

町の方々の人柄が好きです。慎重だけれども、顔馴染みになるととても面倒見が良く「手伝います」と言ってくくださる方が多いです。おかげさまでみ～なちゃん食堂のボランティアは18名、まんげつ食堂は8名と多くの方に協力頂いております。



み～なちゃん食堂

月1回曜日のお昼、総合センターにて持ち帰り与会食の子ども食堂兼多世代交流食堂を運営しています。大変好評のため毎回100食以上提供しており、現在は「お子様世帯と高齢者を優先」としています。午前中は他グループとワークショップのコラボをして子ども達に楽しんでもらう工夫をしています。



まんげつ食堂

月2回木曜日の夜、リルの家に運営している上関20名の地域食堂です。ファミリーや高齢者など幅広い層にご利用頂いています。メインは秩父市にある「大衆食堂内ホルモンがしま」さん、副業はボランティアタッグの家庭の味が楽しめます。どちらも大変好評です。



活動内容

子どもの居場所通信発行

夏休みなどの長期休みに、町内の子ども向けイベントをまとめたお手紙を配布しています。自らが運営を手掛けるものもあり、岩佐隊員と合同で行う「お菓子作り教室」は大変好評です。宿題会は十文字大学の学生に協力して頂き開催、継続して行いたい事業の一つです。



大豆と小麦の会

町内や近隣の住民の方が中心となり、大豆と小麦を育て、安心安全なしょうゆやみそ、小麦粉などを自分達で作る事を目的として運営しています。秩父みんなの村など都市部からの参加メンバーが多く、関係人口の増加に寄与しています。現在運営部5名、メンバー14名。今後は子どものワークショップにも発展させたいです。

課題・悩み

ありがたいことに、み～なちゃん食堂は認知度が高く、多くの方からご協力を頂いております。一方で協力隊の沼子が運営している事が、まだ十分に知られていないように感じます。今後は【み～なちゃん食堂＝協力隊が運営】と知っていただけるよう発信していきたいです。また日々の活動が多忙なため「不登校親の会」や「養いあいお茶会」などの取り組みが後回しになってしまいます。今後は時間の使い方を工夫し、仕事とプライベートとのメリハリも大切にしていきたいです。

今後の展望・目標

私はもともとボランティア活動が好きなおともあり、取り組みがボランティア的な内容に傾きやすい傾向があります。任期終了後も活動を継続していくためには、どのように収益化し、安定した運営につなげていくかが大きな課題です。今後は、一般社団法人やNPO法人の立ち上げも視野に入れながら、持続可能な形で活動を続けられるよう検討していきたいと考えています。



なかしま ひとし 中嶋 仁

【移住支援、空き家物件の利活用】

生年月日 1980年9月24日
出身 兵庫県
職業 教育関係職員
資格 けんしん
趣味・特技 キャンプ、サッカー
マイブーム 酒

お土産屋のみなのや店主！

皆野町にきた経緯

前地域おこし協力隊で「ぼくらのミナノベース」を開業した松澤さんに会ったことと皆野町が大きく変わろうとしている予感がきっかけで皆野町に移住。

経歴

大阪府で教習所に15年（技能教習、学科教習、適性検査、高齢者講習、企業講習に従事）、某携帯ショップで5年（店長時には固定回線契約関西7位、MNP販売台数年間1位を獲得）勤務していました。



皆野町の好きな所

皆野町の好きなところは人です。特に私と深く関わってくれている方々は、地域を盛り上げることに様々な角度からチャレンジをしている。町の方々も多くの方々が協力してくださることに日々やる気をいただいています。



お試し居住住宅の運営・案内

お試し居住住宅「来てみ～な」の管理や利用される方への案内をメインに、皆野町の魅力や情報を伝えています。特に皆野に移り住むイメージが持てるような説明を心がけています。



移住相談、住宅相談

「来てみ～な」を利用された方や皆野町に移住したい方を対象に住居の相談や町の補助金関連の説明、皆野の交通や病院などのインフラ、皆野の四季についてお伝えしております。特に住居の相談が多いです。



活動内容

みなのやOPEN

皆野町の町民と移住者がつながるコミュニティ拠点を「みなのや」をOPEN。観光客をもてなす第一歩としてお土産屋を始めました。今後は「レンタル自転車」や「電動キックボード」など町の周遊や滞在時間を伸ばす取り組みの展開を予定しています。



空き家調査

皆野町に存在する空き家の現状調査をしています。現在皆野町に空き家が約600件。これらの空き家が活用できないか。活性化促進人福島氏、産学連携課、町民生活課と連携し解決できるような活動します。

課題・悩み

今後空き家問題の解決を進めていく中で、町民の理解の遅れ、町外に出られてしまった方へのアプローチ方法が悩みであり課題でもあります。また、みなのやから始まった事業で雇用を生み出しているようにすることを課題としています。

今後の展望・目標

空き家問題、住居不足問題を解決するため、みなのやを拠点に不動産に関わる事業ができればいいと考えています。また任期後も町に定住し地域おこしに関わるような活動を作りたいと考えています。

町民に一言
よそ者ですが、
よそ者らしくはやりません。



小さな町で、大きな可能性に出会う



うだわ しょう
宇田川 翔
【有害鳥獣被害対策・ジビエ利活用】

生年月日 1985年1月22日
出身 富山県
前職 地域おこし協力隊
職種 うた
趣味・特技 楽器演奏
マイブーム 肉桂皮

皆野町にきた経緯

大学卒業後、児童館・学童クラブ職員等を勤務。令和4年に東吾妻町（群馬県）に移り役場農林課にて獣害対策（地域おこし協力隊）の業務を3年間担当。任期終了後、皆野町に移り獣害対策・ジビエ利活用担当の協力隊として町民の獣害相談業務や有害鳥獣駆除・駆除業務、その他地域おこし協力隊として様々な業務を行っています。



経歴

大学卒業 ⇒ 児童館・学童クラブ職員 ⇒ IT企業にてサーバエンジニア ⇒ 再び児童館・学童クラブ職員 ⇒ 群馬県東吾妻町にて獣害対策員（地域おこし協力隊）⇒ 現在に至る

皆野町の好きな所

町民の方々と共に活動すると、地元の皆さんの「皆野町を盛り上げたい！」という強い思いがひしひしと伝わってきます！



有害鳥獣の捕獲・駆除

皆野町の有害鳥獣（ニホンジカ・イノシシ・アライグマ・ハクシシ・アナグマ、ニホンザル等）の獲・猟による捕獲・駆除を行っています。



ジビエ加工場との連携

駆除したニホンジカを皆野町のジビエ加工場「桜東風」さんに食肉加工用個体として搬入しています。

活動内容



獣害対策の情報提供

WEBサイト「狩猟普及委員会」を運営。様々な野生動物の生態や獣害対策の情報を載せ、情報提供を行っています。



鹿・猪レザークラフト

「ふれあいまつり」や協力隊のイベント「みなFES」にて猪・鹿を使ったジビエレザークラフト体験ブースを運営しました。



宇田川翔のWEBサイトについて詳しくはコードよりアクセスください

町民に一言
獣害でお困りのことがあればどんなことでもご相談ください！



課題・悩み

- ・地域住民への効果的な獣害対策の情報発信が手法も含め足りていない。
- ・ジビエ加工場への個体搬入数が少なく、大きく貢献できていない。
- ・結果することへの漠然とした不安がぬぐい切れない。

今後の展望・目標

- ・町内の鳥獣による被害状況を幅広く拾い上げるための仕組みを強化。
- ・「みなFES」を定期的に発行し、適正な獣害対策の情報提供を行い、町民の獣害対策の認知度を強化。
- ・起業・事業化に向けて、一つ一つの作業を進めていく。



SNS企画・動画作成

PIZZA AROMAさんのクラウドファンディングの告知動画や、皆野町で行われるイベントの動画撮影、編集まで担当しています。今後は、皆野町観光協会ホームページの改修（リニューアル）についても担当する予定です。



お菓子教室

子供の長期休みに合わせ、小中学生に向けて沼子隊員と一緒に菓子教室を開催しています。自分は製菓学校で学んだ知識を使い講師として参加しています。毎回好評のお声をいただいております。

活動内容



エンゼル焼き復活！

11月2日に行われた皆野横丁において、地域おこし協力隊で吾妻町で販売していたエンゼル焼きを復刻し、出店した際に、リーダーとして動きまわりました。タイムスリップ横丁での課題を踏まえ、無事に400個のエンゼル焼きを販売する事ができました。再販のお声をいただいております。



クラフトフェア秋父

秋父市で開催された「クラフトフェアちちぶ2025」に出店し、皆野ブースのリーダーを担当しました。みなFESのラポにて木材をひらがなに切り抜き販売する「ひらがな」を行いました。秋父の方とたくさん話ができて、皆野町のPRをする事ができました。

課題・悩み

皆野町の課題は、PR力だと思っています。皆野町には、素敵な観光地やイベントがあります。たくさんの方に「まず知ってもらい」事が大切だと考えています。自分が得意とするSNS発信・動画制作などを通じてたくさんの方に皆野町を知っていただけるよう、発信を続けたいと思います。

今後の展望・目標

今後は、SNSやイベントを通じて関係人口を増やしていきたいと思っています。自分はラジオのパーソナリティをしていますので、様々な媒体で皆野町を知って興味を持っていただき、地域おこし協力隊についても、もっと知りたいです。

町民に一言

みんなの皆野町が盛り上がるようにこれからも活動頑張ります！



皆野町のエンターティナー



いわさ みずき
岩佐 泉希
【観光を通じた地域活性化】

生年月日 2000年1月6日
出身 埼玉県上野市
前職 広告制作会社
プロデューサー
資格 ミズキ
趣味・特技 お菓子作り
マイブーム いちご

皆野町にきた経緯

皆野町にきたきっかけは、2年前に前協力隊の松原さんがオープンした「ぼくらのミナノベス」にキャンプをしに来たことが始まりです。そこで東隊員や中隊員に出会い、地域おこし協力隊について知りました。その中で、前職の経験を生かして地域に貢献できる内容の募集があり、6月から地域おこし協力隊に就任いたしました。

経歴

高校の卒業と同時に調理師免許を取得しました。その後製菓学校で2年勉強をし、料理の振りにこだわることになりました。広告制作会社で5年間プロデューサーとして様々な広告を手掛けました。



皆野町の好きな所

皆野町に移住を決めた理由は、人の温かさです。たくさんの方から、関わるたびに温かい言葉をいただけます。移住で不安になっていた気持ちも、気づけば楽しみに変わっていました。あと空が好きです。



人生はフリースタイル

ふしの まお
藤野 磨緒

【地域のデジタル化支援】

生年月日 2001年9月15日
出身 埼玉県さいたま市
職業 エンジニア
趣味 シュティ
特技 ダンス・トワイフ
マイブーム ダンス

皆野町に来た経緯

転職を考えて求人を探していた際に、現在の会社の募集を知りました。もともと皆野町にはドライブでよく訪れており、地域の雰囲気や土地柄を自分なりに理解していました。そのため、外側からではなく、地域の一員として皆野町の力になりたいと考え、協力隊に応募することを決めました。



経歴

これまでに、Webライターやジムのインストラクターとしての勤務を経て、エンジニアとして約3年間活動していました。前職では、Webサイトの制作や企業向けの顧客管理システムの開発・運用に携わり、IT分野での実務経験を積みました。

皆野町の好きな所

人の温かさです。地域の方々が「一庵にやろうよ」と自然に巻き込んでくれて、外から来た自分でもすぐに受け入れていただきました。また、秋祭りの準備に参加した際の一体感や会場の空気は非常に印象深く、地域のつながりの強さを実感しました。さらに、皆野町は季節ごとに景色が大きく変わり、どの時期も美しい自然に触れられることが魅力だと感じています。



行政デジタル化支援

皆野町役場内のITやデジタル化に関する相談、悩みに対応しました。

【相談件数】19件
【対応件数】11件
○健康こども課：医療機関紹介書類自動作成
○総務課：消防団活動報告の自動集計



活動内容



スマホ・パソコン相談会

令和7年4月から毎月3回、町民を対象に、スマートフォン、パソコンの困りごとに対応する相談会を役場、みなのか、長生荘で実施。
【相談件数】149件(令和7年4月～12月までの総計)

町民に一言

皆野町と一緒に盛り上げましょう！



事業者デジタル化支援

皆野町内の事業者・団体からのITやデジタル化に関する相談、悩みに対応しました。

【相談件数】28件
【対応件数】7件
みずほの里、隈田歯科医院、東電協商会、株式会社ケミサプライ北埼玉、櫻井建設、(有)大野製作所、下田野あんどんまほ保存会
【対応内容】
○LINEビジネスアカウントの作成
○HPの構築修正、バナー・ページ作成
○パソコンの設定の不具合 など

協力隊のPR・活動紹介

活動内容をまとめた記事を作成し、協力隊の取り組みを広く周知しました。協力隊の紹介記事を作成するため、各隊員にインタビューを行い、記事を掲載しました。また、協力隊主催イベントや地域イベント報告なども掲載しています。



協力隊の活動紹介について詳しくはコードよりアクセスください

課題・悩み

町民のデジタル化への抵抗感が強いことです。町民や事業者の中には、デジタル化を難しく感じたり、既存の方法が安心だと考える方が多く、デジタル化の必要性や利便性が十分に浸透していない状況があります。そのため、デジタル化への理解や前向きな取り組みにつながりにくい点が課題です。

今後の展望・目標

町内の人手不足を解消する「まちの人間部」を作りたいです。人手不足の背景には、そもそも求人が十分に出ていないことも一因と感じています。そのため、習得の面で求人を出しにくい事業者へ、人材確保の活用支援や求人掲載の代行を行い、求職者と町内企業をつなぐ仕組みづくりを進めたいと考えています。



皆野町に来た経緯

これまでに培ってきたITスキルに加え、個人として関心を持っていたアート分野を活かした業務に携わることができるとの転職先を探していた時期に「デジタルラボみなのか」の求人を知りました。もともと自然が好きで地方移住にも興味を持っていたことから、その内容に響かれ、地域おこし協力隊に応募し責任することになりました。



経歴

当初はIT企業に入社、大手小売企業のシステム保守・開発を担当。その後、令和7年に株式会社デジタルラボみなのかに入社。

皆野町の好きな所

自然を身近に感じながら暮らせるところが、皆野町の好きな所です。夜空を見上げるときれいな星が見えるのも魅力の一つで、町の中にキャンプ場があるほど自然が豊かで、空気が澄んでいるため星がよく見えます。日々の暮らしの中でこうした景色に触れることは心地よく、目や気持ちのリフレッシュにもつながっていると感じています。



行政デジタル化支援

皆野町役場内のITやデジタル化に関する相談、悩みに対応しました。

【相談件数】19件
【対応件数】11件
○健康こども課：医療機関紹介書類自動作成
○総務課：消防団活動報告の自動集計



活動内容



スマホ・パソコン相談会

令和7年4月から毎月3回、町民を対象に、スマートフォン、パソコンの困りごとに対応する相談会を役場、みなのか、長生荘で実施。
【相談件数】149件(令和7年4月～12月までの総計)

町民に一言

ITに関するお悩みなんでもどうぞ！

課題・悩み

課題として、地域事業者とつながる機会が限られていることです。商工会には加入していますが、日常的な情報交換や相談の機会はなく、規模の大きな案件や機微的な支援につながるケースが少ないのが現状です。また、事業者側のデジタル活用に対する課題やニーズを十分に把握できておらず、具体的な提案や支援内容が限定的になっているという悩みもあります。

今後の展望・目標

今後は、事業者や行政が取り組んでいる事業内容や課題を理解するため、地域の取り組みや制度について学ぶことを重視していきます。加えて、事業者と接点を増やすため、交流の場への積極的な参加、情報発信などを通じて、関係を作り、実情に即したデジタル支援の提案ができる体制を整えていきます。「困ったらず相談できる存在」として地域に信頼されるデジタル人材となることを目指します。



生年月日	2000年3月7日
出身	埼玉県
学歴	大学院生
愛称	ひろてぃー
所属・所属校	読書・ゲーム
マイブーム	満野町の食へ飽きり

株式会社デジラボホールディングスに勤めている友人の紹介で岩野町をデジタル化する取り組みについて知りました。学生時代から地域課題の解決策を考えてきましたので、現場で生じてみたという想いがあり岩野町にきました。地域おこし協力隊、そしてデジタルガバминаの一角として、これまで学んできた専門知識を活かしながら岩野町のデジタル化を力強く変えていきます。

令和4年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学部 卒業
令和4年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学研究科
博士前期課程 入学
令和7年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学研究科
博士前期課程 中途退学
令和8年 株式会社デジタルホミナの 入社

地域おこし協力隊、そしてデジタルラボミナ
のの一員として、まずは「デジタルのちょっと
した困りごと」を気軽に相談できる存在になり
たいです。私自身もこの町での暮らしを学びな
がら、共に進む「伴走者」としてお手伝いしま
す。無言ずかず、現場の声を形にしていけ
ればと思います。

デジタルで分からないことが
あれば、一緒に解決しましょう

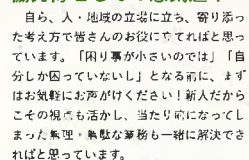


生年月日	1991年12月19日
出身	埼玉県草加市
所属	林業職
愛称	アングェル
趣味・特技	ぬい活、お遊
マイブーム	新たな日本酒との ペアリング探し

華勝上、お客様の顔が見えづらく、上手くやりがいを発揮できない日々の中、ライフワークを重視し地方に根ざした仕事がしたいと転職を決意。職場の問題解決手法や社内DXの知識を活かればと、デジタルラボみなのに今年8月1日に入社。

東京慶応大学 生物生産学部 食品香粧学
科卒業。三井金属鉱業株式会社へ技術派遣
として入社し、銅箔事業部 開発部 評価・解
析Grに所属。開発品の評価・解析や新規特
許取得支援などを通常業務として行い、部
内のDX・システム担当も兼任。

人・地域に寄り添った考え方で
デジタルの面で地域貢献
していきます！



おた えみ
太田 絵美
【地域のデジタル化支援】

生年月日	1963年11月8日
出身	兵庫県
所属	福岡ソフトバンクホークス
愛称	エミリー
職団・特技	美声・外行・台湾華語
マイブーム	ヤオコウのこゝろでリ ジュ・シー・ワンの購入

沖縄や台湾でゼロからフライタル事業を立ち上げ、異文化生活を楽しんできましたが、子どもの成長を見守る自分自身の現状にも目を向けるようになり、働き方や生き方について考え直すようになりました。そこでデングボの理念や取り組みに共感し、佐野町へ移りました。

九州・熊本県出身。漠然とあった海外に出てみたいという思いで台湾へ。外国でお金を稼ぐために取得した嘉付け師の資格を活かし出張嘉付けサービスを開始したところ、予想以上の需要を受け、国際カップルや日本人カップル向けにプライベートサービスを展開。三度の食。

まずは皆野町や他の協力隊の皆さんの活動を刊することから始めたいと思います。親子移住なので、子どもたちの暮らしからも皆野町への想いが生まれるのではないかと感じています。よろしくお願ひします。

「みんなで皆野」を
目指してがんばります



DIGITAL LAB

株式会社デジタルラボミナの

地域のお困り事をデジタルで支援、一緒に実現

デジタルラボみなのは、埼玉県を野町に拠点を置く地域企業型企業です。
私たちは、市民の暮らしを便利にするデジタルサービスの提供、地元企業の業務効率化を支援するIT技術の導入を行っています。

「ITスキルを持つ地域おこし協力隊」や地域の人材と連携しながら、観光・販路拡大・まちづくりなど、さまざまな地域課題にも取り組んでいます。

設立 令和6年10月11日
所在地 埼玉県狭山市野村大学大1284 みののLABO内
代表者 斎藤 輝彦
従業員数 5名(令和8年2月現在)
メール minano@dlab-jp.com
Web <https://www.dlab-jp.com/minano>
QRコード <HP>



- ・行政・中小企業向けIT/DX支援
- ・業務効率化 (Excel・ツール導入など)
- ・Web広告・SNSプロモーション支援
- ・地域福祉/デジタル教育事業

働き手の減少 若い手不足 専業主婦の減少
 全世帯人口の 労働力の急増 労働人口の減少
 急激な減少 労働力の不足 労働力の減少



至29ルラホによる誤解解決

無償DX支援、地域企業の業務効率化と労働力不足への対応、まちの活性化
都市部からの地域おこし協力隊移住、移住増・定住促進、地域活動の担い手確保
域外からのIT案件受注による新雇員創出、移住する人材の輩出・若者流出抑制
地域に仕事と人が溢れる好循環のきっかけを作ることでの活性化を目指す

地域活性化起業人

丸林 優太 Marubayashi Yuta
DX推進アドバイザー

派遣元：株式会社埼玉りそな銀行
開始日：令和6年10月1日



民間企業で培ったノウハウや知見を生かし、デジタル技術を活用して役場内や地元事業者の業務効率化をデジタルラボみなとの協力で取り組みます。

経歴：合同会社デロイトトーマツ/株式会社地域デザインラボさいたま



主な活動内容

- デジタルラボみなとの運営支援
- 自治体の業務プロセスのたどり、プロセスの再設計
- 役場や事業所を定期的に訪問してDX化に関する悩み解決
- 地域おこし協力隊と連携した解決策の実行

地域活性化起業人

今井 良治 Imai Ryoji
新しい公共アドバイザー

派遣元：株式会社アイマックス
開始日：令和7年1月1日



行政、住民、企業など様々なセクターが、それぞれの強みで主体性を持って取り組み、助け合い、手を取りながら作っていくまちづくりの実現のため、新しい公共創生アドバイザーとして、まちづくり現場での経験を生かして取り組んでいきます。

経歴：地域元気創社 代表 / 南砺市観光大使 / ローカルリミット事務局員 ほか



主な活動内容

- 町長や町議員への新しい公共創生に関する助言
- 町職員への研修会の実施
- ネットワークを生かした民間企業等の関係性の構築
- 民間資金を活用した道の駅開発への助言
- 近隣道の駅の調査・分析

地域活性化起業人

福島 和宏 Fukushima Kazuhiro
空家調査員

派遣元：アースシヅナル株式会社
開始日：令和8年1月1日



他自治体での移住促進コーディネーターとして実績があり、所有者に対する空き家、空地利用の意向確認や簡易家屋調査など、物件が流通するまでのサポート業務を行い、町内の空き家・空地の利活用に取り組みます。

経歴：合同会社デロイトトーマツ / 福井県南越前町地域活性化起業人 / G×ラボ株式会社 取締役



主な活動内容

- 物件所有者への意向調査
- 買い手に対して物件情報の説明に必要な情報を収集
- 簡易家屋調査を実施し、現状の状況を資料にまとめ報告
- 間取り図の作成や対象物件周辺環境調査の実施

集落支援員

永越 信樹 Eikoshi Nobuki
高齢者の見守り・文化の伝承

委嘱日：令和7年10月1日



高齢者が安心して暮らせるまちづくりのため、単身高齢者等を訪問し、声かけや小さな困りごとの解決を行います。また、会話の中から地域独自の文化や技術、ノウハウなどを引き出し、地域の貴重な財産として継承していく活動を行います。

経歴：森林インストラクター / ショパークちちぶガイド



主な活動内容

- 高齢者の見守り活動・訪問
- 防火防犯、火災報知機の設置活動
- 単身高齢者等の困りごと解決
- 町の介護予防事業等への参加促進
- 自然や文化、昔話や伝承の聞き取りと継承



早稲田大学人間科学学術院と皆野町との連携



ふるさと支援隊活動

WAMIPOPの活動の様子をご覧ください

- ・2012年から埼玉県助成を受けてスタート
- ・WAMIPOPとして活動
- ・国際交流
- ・伝統行事・文化支援
- ・秩父音頭祭り参加
- ・農林業活動



地域おこし協力隊
国際交流

- ・2020年から2名、皆野町に赴任
- ・高校魅力化（皆野高校との連携）
- ・JSTさくらサイエンスプログラム等受け入れ（カザフスタン／オーストラリア／タイ）



2019年包括連携協定締結
早稲田大学人間科学学術院と皆野町
地域活性化・学生交流
～研究・教育・貢献～

みな教育シンポジウム

- ・2022年：地域活性化の核となるふるさと教育
- ・2023年：地域活性化をもたらす学校・地域・企業連携型人材育成 ～住み続けられるまちづくり～
- ・2024年：持続可能な地方創生型人材育成を考える
- ・2025年：住み続けられるまちづくりを
74名の生徒から計18個提案



ステイホームダイアリー

- ・中学生、若者、高齢者の3世代をつなぐ「多世代間交換日記」
- ・3人1組1冊、計36名参加者
- ・テーマ：「自己紹介」「身体を動かすダイアリー」「秋を楽しむダイアリー」
- ・手書きの言葉で地域内の交流や心の距離を縮める



ヘルスケア関連ビックデータを活用した
AI技術の実証事業

- ・デジタル田園都市国家構想推進交付金獲得
- ・健康データ分析に基づく健康増進で中長期的にまちを発展させる事業
- ・黒澤町長：早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員
 - ・介護・入院関連データ分析
 - ・デジタル人材養成
 - ・特定健診受診促進要因分析
 - ・自動分析ツール
 - ・重大傷病要因分析

中山間地は可能性いっぱい！

埼玉県皆野町の森林を活用しよう

ものづくり大学
田尻研究室
(まちづくり研究室)

1 取り組みのきっかけ

- 皆野町には、暮らしのすぐそばに森林があります。
- 森林に関わる課題は身近になっています。
- そのいっぽうで、普段の生活の中で、森林に触れる機会はそれほど多くありません。

◎ こうした状況を踏まえ、今年度は町と森林との関係をあらためて考えるきっかけづくりに取り組みを進めていきました！



2 2025年度のテーマ

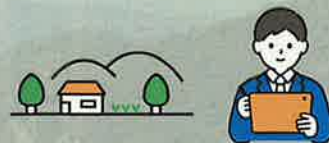
- まずは町の中で森林がどのように受け止められているのかを知ることが大切！
- また、森林について学び、実際に触れる機会をつくることで、住民が森林を身近に感じ共に関わっていく意識を育むことを今年度のテーマとしました！



3 皆野町の様子を知る

- 取り組みを進めるにあたり、まずは、森林について皆野町の中でどのように感じられているのかを整理することからスタート！

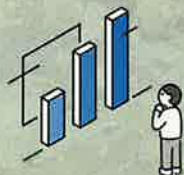
- 森林に対する印象や、普段感じていることなどを通して、町全体の様子を把握します！



4 見えてきた傾向

- 集まった声や情報をもとに、町の中での森林に対する感じ方を整理しました！

- 人や地域によって森林との距離の感じ方に違いがあることが見えてきました！



5 わかったこと

- 整理を進める中で、森林は大切だと感じられる一方で、日常の中では少し距離のある存在になっていることが感じられました！

- また、森林について知ったり、実際に触れる機会があることで「身近に感じた」という声も見られました！

◎森林との関係は、小さいきっかけから動き出すかもしれません！



6 これからに向けて

- 知ることや触れることをきっかけに、森林を少し身近に感じられる場面が増やしていくことが大切！

◎今後も町と森林の関係をゆっくりと育てていけるような取り組みを展開していきます！



2025年度 主な取り組みをご紹介します

ものづくり大学
田尻研究室
(まちづくり研究室)

木工ワークショップの開催① In みなフェス



みんなで
楽しくまちづくり



木のぬくもり溢れる
ミニチュアタウン

植樹イベントへの参加



未来の森を育てる
仲間たちと記念撮影



みんなで協力して
植樹に挑戦

木工ワークショップの開催① In 里山アートピック



森林や木材の基礎知識
を学ぶこどもたち



自由な発想で
まちづくり

金沢地区での清掃活動



道路付帯施設の
清掃活動



道路環境の
保全・維持活動

地域イベントの 思い出・思い入れ調査 ～金沢地区～



つつじまつり
「フラダンス」



つつじまつり
「人形劇」

附錄 1 品質管理工具與統計技術之關係圖

・24~25日、食生活
に入替わって終了



7月
22日



1月
7日

皆野糸合セ9-2"
宿題会

[illegible]

十文字学園女子大学
児童教育

◎ jidokyoku

オオムシのついで
イノチのついで
花のついで

22日は、学校での日付
春のついでに花のついで
22日は、花のついでに花のついで

岡野さんに初めまして。
しき。お会いした日。

[illegible][illegible]

1月
21日

秘東風

岡野さんと今後の予定に
ついて話した日

た。たらの要について、もうこればかりは語を聞きました。
岡野さんに色々事にチャレンジしているが、今日は東の
一歩先にな。また、「はちみつゼリー」について聞きました。
悔りに抱かせること。その人達の2人が、もしも風情があり
と、またと。今後は話について、東の語を聞きます。

初!!
「奥我」さんのラーメン

以前 岡野さんが事務所にも来られていたという話を聞いた
 奥でそのラッシュアップがあったり、余り好きでした。
 岡野さんにはスエーデンにいた時に、そのラッシュアップを撮った
 こともあって、そのラッシュアップが、その時に撮った写真が、
 その時に、その時に撮った写真が、その時に撮った写真が、

1月
27日



世界一周大学

日本中の若者たちが、この世界をキャンパスに、「わたしをつくる冒険」へと出発し、様々な未知の体験を通して、仲間と夢を実現させていくコミュニティ。

皆野町との冒険協定

黒澤町長が掲げるまちづくりのキーワードのひとつ「チャレンジ」を進めるためには、皆野町に関心を持ってもらう関係人口の構築が不可欠です。世界一周大学の学生は好奇心、やり抜く力、創造性などの「冒険力」を生かした活動をする事で町民との関係性を構築し、地域の活性化を期待しています。



秩父音頭祭り タイムスリップ横丁



8月
秩父音頭祭りの町皆野町をより一層盛り上げるべく、世界一周大学で新エリアを開拓！町民の方にインタビューをして回り、なつかしのソウルフードや昔流行った遊びを調査！そして再現したものを屋台で販売しました。

大好評だったのが、矢野百貨店の名物だった「エンゼル焼き」当日は総勢50名ほどの学生が皆野に集まって計8店舗を備え、秩父音頭も楽しめました！（「おかしけりゃおわらない賞」！）

インタビューから当日まで、町民の方々と関わるとても良い機会でした！！



皆野高校文化祭



11月
昨年に引き続き、皆野高校の文化祭に関わらせて頂きました！今年はおばけやしき！高校生がやりたいことをひとつでも多く、一緒に実現したい。そんな思いから実際に高校に行き、高校生たちの声を聞いてこのお化け屋敷が出来上がりました。校内公開も当日も大盛況！高校生たちのやりたさと私たちのやりたいが掛け合わさって出来た、最高の1日でした！！

2025 セカダイ×皆野町



12月
セカダイ佐和子の地域おこし協力隊インターンの活動の一環で、町民の方にお話を振る舞う企画を行いました。その名も「おあがんべ」。秩父音頭から取り、自分自身と町、セカダイと町、そして町に関わる人と人が繋がる空間をつくりたい、そんな思いで企画しました。お祭りやイベントに遊びに来て終わりではなく、帰ってくる「居場所」であること。町の中×中、中×外、外×外が繋がることでそれぞれに大きなメリットがあると思っています。この企画をきっかけにまたご協力が繋がって、皆野をもっとおもしろい町にしたい！！

おあがんべ



7月
世界一周大学のオフラインプログラム第一回は皆野で！2泊3日Mahora柳郷山に宿泊し、皆野を堪能しました！！

2日目にわたしたのは「リトル地域おこし」皆野を含め秩父エリアを散策し、皆野をより良くするためのアイデアを町役場にて発表しました。学生ならではのクリエイティブなアイデアが飛び交いました！

秩父タビる

10月-12月
セカダイの佐和子が、3ヶ月間皆野町で地域おこし協力隊のインターンとして活動しました！地区の運動会やお祭りに参加したり、改めて町民の方と密に関わる機会がたくさんありました。皆野の良さは「人」にあると思います。これからもその良さを生かして、発展して、より良い町づくりを一緒に！実現したいです。



地域おこし協力隊
インターン

→ 施設紹介

※ デジタル工房「ファクトリー」は、コワーキングスペース、サテライトオフィスと並ぶ、地域の活性化を促進する役割を担っています。また、デジタル工房「ファクトリー」は、地域の活性化を促進する役割を担っています。



ハタラコファクトリー
Co-factory
みな
の
LABO

→ ワークショップ紹介



雨の日を楽しい「みなLABO」で、
旅の思い出を形にしませんか？

※ 素材の特性を生かしたオリジナルアイテムを作るレーザー加工機のワークショップを開催中です。ガラスやコースター、お皿など、多様な素材を使って、あなただけのデザインを制作できます。お子さまが得意な、大切な方への手書きメッセージ、さらには可愛いデザインで、個性的なアイデアをその作品に仕上げることが可能です。

※ 旅の思い出やプレゼントにぴったりな、世界に一つだけの特別なアイテムを制作しませんか？ スタッフが1から丁寧にサポートしますので、安心してご参加いただけます。



→ 商品開発教室：小学生対象

※ みなLABO内で使える仮想通貨のお金「Lacco（ラッコ）」を用いて、商品の仕入れ、製作、そしてECサイトでの販売まで、一歩のプロセスを子どもたちが体験できるプログラムを開催しています。

※ みなLABOにあるデジタル機器を使って、アイデアを形にし、実際に届けるまでの流れを学ぶことで、商品開発やマーケティングの基礎的なスキルを磨いていきます。他にも各機器を使った教室など最先端の学びを準備予定です。



〈教室の様子〉

→ 企業向けレンタルオフィス紹介

※ 全国展開のレンタルオフィスで、広々とした敷地を提供しており、法人登記や専任秘書等の利用が可能です。

※ 専任スタッフによる受付の受け取り代行もあり、利便性は抜群。セキュリティ設備がしっかりとあるため、大切なビジネスを安心して預けられます。

※ また、必要に応じて会議室や机スペースを予約することで、臨機応変な対応が可能です。快適な作業環境と最先端のIT設備が揃った、最新の設備で最新の業務を遂行していただけます。



【施設紹介】

かつて田舎町で運営していた日帰り温泉施設が、2022年、コワーキングスペースを併設した宿泊施設に生まれ変わりました。自然の恵みと「温泉の湯」まで徒歩1分、静かな環境にハイキング、登山、料理教室と様々なサービスが揃っています。温泉ももちろん、10分間の好立地です。コワーキングスペース併設でワーケーション利用に最適です。



〈外観〉

ハタラコリビング
Co-living
みな
の
subako

森に佇む鳥の巣箱をモチーフにした癒しの空間



subakoの部屋



subakoの部屋

文豪のように籠ってお仕事に集中

大正時代に活躍した文豪の故郷を訪ねる旅。旅の思い出を形にしませんか？

※ 旅の思い出やプレゼントにぴったりな、世界に一つだけの特別なアイテムを制作しませんか？ スタッフが1から丁寧にサポートしますので、安心してご参加いただけます。

※ また、必要に応じて会議室や机スペースを予約することで、臨機応変な対応が可能です。快適な作業環境と最先端のIT設備が揃った、最新の設備で最新の業務を遂行していただけます。



シングルルーム客室

合宿・登山・サイクリング等様々な目的で



〜サイクリングで山間の自然を満喫〜



会社概要

全従業員が物心両面の
幸せを追求するとともに
木材を通じて人類社会の
進歩発展に貢献する

(continued)

昭和28年（創業明治44年）

代辦處

小池 文惠

主要参考文献

住友林業・木下工務店・近藤建設

・古郡水一ム 他県内外約250社



GLAUCOMA

公共の施設や民家の庭先など、大きくなりすぎた木の
剪定・伐下ろし・幹の伐倒・片付け等も行っております。

山林事業

大自然の恵である
「木」のよさを
最大限に
生かして船ります

製材事業

株式会社ウッドーコイケ木材事業所は山林立木の伐採から製材、乾燥、加工までの工程を一貫して自社で行っています。また周囲の代価的な植林不である杉と松を取り扱っております。

博士課程 1 年次履修

プレカット事業

CAD 计算机辅助机械制图

合板ブレイカット

大工さんの匠の技に依存していた行程を標準化、工費とコストを大幅に削減する加工システムです。

ログ環境製品事業

木の持つ「香り・ぬくもり・安らぎ」を
自然環境と共存する形へ

主に国産の杉材を使用し、山小屋、管理棟、御礼所、トイレ等
いろいろな条件、ニーズに応じて柔軟な、設計・加工を行っています。

施工例・オープンファクトリー紹介

「古くなくても国産の下がらない住宅」をご提案しています。伐採見学・工場見学ツアーと合わせてご置いただくと、木のぬくもりを実感できます。



様々な取り組み

令和5年5月4日に、長野町、ものつくり大学で地元産生に連携、協力して取り組むための「長野産肉協定」と、長野町、ものつくり大平、株式会社ウッダー・コイケ・オフィスプラス株式会社の4者で森林資源の連携に関することに連携、協力して取り組むための「長野町における森林資源の範囲に係る連携協定」の2つの連携協定を締結しました。

【包括漁撈協定】

【智野町における森林資源の確保に係る連携協定】



【皆野町の森林の現状】



ものづくり大学・オフィスプラス(株)との協働

ものつくり大学の学生が、ワークス・イノベーションを推進した情熱家になってしま
った不祥を使って、イスを作るワークショップを2024年8月、暑假期間で開催
しました！

ワークショップはオフィスプラス（株）が運営するデジタルファブリケーション
施設「@ Co-factory みんなのLABO」にて行われ、集まった子ども達が作った
イスは皆野町の駅前に使われたい。



ウッディーコイケ・OKI・大成建設と「埼玉県森林づくり協定」を締結

～沖電気工業「本庄工場 H1 棟」に使用した留野町産木材の伐採跡地で森林整備活動を推進～

2023年2月2日より「埼玉県森林（もり）づくり協定」をワッヂーコイフ・OKI・大蔵建設の3社で締結しています。2022年4月に竣工したOKI 本庄地区（埼玉県本庄市）の新工場（OKI 本庄工場 H1 棟、以下 H1 棟）裏庭内に使用した県父老の試験地である菅野町・金井地区のフィールドにおいて、樹木を次世代につなぐ森林整備を促すべく、森林整備協定を締結的に行っています。

「国王森林づくり協定」は、熊良川流域の計画である森林づくりを促すため、森林づくりを伴う企業・団体、候補地を提示する市町村など、候補を実現する関係機関の3者で協定を結び、協力して森林づくりを行うものです。協定の対象となったのは、31市のほぼ全域に対して年度別を目的として実施している各社の伐採跡地824haです。

熊良川・全谷地区はOKIグループの工場などの本社地区の水でもあります。地方の企業として水資源について熊良川流域の計画などを行うウオーダーコイタと、新工場の建設でもある大塚建設が中心。OKIの各社の社員ボランティアによる林道整備活動も数回行なわれています。

自治体、農業者、加工業者、林業関係の四者が協議し、初めて得られた木付伐採地の再造林も目指すという、全国でも稀有な取り組みであり、2023年夏には大井川、大瀬川の両河川下流の両方に3haにそれぞれ500本程度の苗木を植栽した。

2024年度には以下通り「民が木づくりに関する」に、調査や研究・作業」との2つの重点活動があり、2027年度の6年間で、最終的に完成を目指す予定だ。



(ドローン)
無人航空機スクール

FreaksGarage

フリークスガレージ



無人航空機（ドローン）の操縦・運用は簡単ではありません 必要なのは免許や資格ではありません
ラジコン（ラジオコントロールシステム）など複数分野に渡る 専門的な知識と技術が必要です
当スクールでは現場で活躍する **本物のプロパイロット** から本物を学ぶ事ができます



ラジコンや模型製作など 子どもたちや若い世代に楽しみながら ものづくりや最新技術にふれる機会も提供しています



FreaksGarage フリークスガレージ

TEL : 080-9040-8585

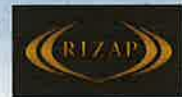
MAIL : freaksgarage@agate.dti.ne.jp

所在地 : 〒369-1412

埼玉県秩父郡皆野町皆野1007-3 農園ハイツ2号棟101



皆野町 × RIZAPで 本気の健康づくり



—— みんなの健康が、まちの未来になる。 ——

2025年度実績

皆野町の新しい健康への第一歩。

2026年度計画

もっと身近に、もっと着実に。

●包括連携協定締結式 2025年6月



●皆野町との包括連携協定に基づく連携事項

- ① 町民の健康づくり意識の醸成に関する事
- ② 町民の健康増進に関する事
- ③ 町民の介護予防に関する事
- ④ 地域活性化起業人制度を活用した健康増進・スポーツ振興施策の推進に関する事
- ⑤ 町民を対象とした健康増進策としてのPoC（ポータル・オブ・コミュニティ）事業の実施に関する事
- ⑥ その他、目的達成のために必要な事項に関する事

●ウォーキングセミナー開催



皆野町健康づくり推進委員会
水戸 彰乃 代表

●特定保健指導実施

- 各自身の内なる課題に向けたコース設計
- 保健師・管理栄養士によるオンライン個別支援

参加者の感想！

3か月間、食事と体重の記録を
欠かさず行い、自分の体の
変化を実感しながら、楽
しく取り組めたことが
良かったです！



さらに加速する
健康プロジェクト

健康セミナー
(年2回開催予定)



RIZAP
トレーナーによる
継続指導(月1回)



地域健康
実証実験(PoC事業)



超えよう。

大切な人と笑顔で、長く幸せな毎日を送っていただきたい。

明治安田生命は、日本で一番最初に生まれた生命保険会社として、約150年ものあいだ、人の命に、人生に、寄り添ってきました。

「確かな安心を、いつまでも」

目まぐるしく変化する世の中でも相互会社らしくお客さまを想い、その使命を追い求め続けたからこそ、見えてきたものがあります。

もっと、健やかになっていただくために
いざという時はもちろん、“その後”も、さらには“そのずっと前”から、サポートする。

もっと、誰もが暮らしやすい地域にするために
まちを駆けまわり、人と人を、人と地域を、つないでいく。

もっと、大きなチカラにするためにJリーグ、JLPGAなど、同じ志を持った仲間たちと
手をつなぎ、パスをつなぎながら地域独自の課題をも解決していく。

もっと、もっと。

笑顔あふれるやさしい世界を、つくりたい。
希望に満ちた社会を、未来のこどもたちへつないでいきたい。

日本で一番長く、相互扶助の絆を育んできた私たちなら
あなたと一緒に、そんな未来をつくることができると信じて。

だから明治安田生命は、
生命保険会社の役割を超えていく。

ひとに健康を、まちに元気を。

明治安田生命から、**明治安田**へ。



皆野町との地域課題解決に向けた取組み 2025年3月17日～包括連携協定を締結

1 健康麻雀イベントの協働開催

- 高齢者の方の交流や外出機会の増加や認知症予防を企画し、皆野町と協働で「飲まない、吸わない、賭けない」を合言葉に麻雀イベントを開催。当日は多くの方でにぎわいました。



2 サウンドアーチの寄贈

- 耳の遠い方と話す際にお相手方の声が聞きとりやすい「サウンドアーチ」を皆野町役場に寄贈しました。活用してみると今まで電話ではお話が通じにくかった高齢の方も聞こえる機会が増えたとお声を頂きました。



3 私の地元応援募金の取組み

- 明治安田グループの全従業員が出身地・居住地等のゆかりのある地域の自治体等に募金し、会社からの寄付を上乗せしてご支援するもので、それぞれの地域に寄り添い、離れた“地元”にも想いをお届けする活動です。2025年度は皆野町さまに503,300円の寄付をさせて頂きました。



古民家に惹かれ気づいたら
住んでいた皆野町

[illegible]

美味しい料理で
ジビエを広めたい



The screenshot shows a WhatsApp chat interface. At the top, there's a header bar with a green background and a white icon of a person. Below it, the chat header shows a profile picture of a man and the name "田村 先生" (Tanabe Sensei). The chat history shows several messages:

- A message from the man: "田村先生にメールで質問したいんですけど..." (I want to ask a question to Mr. Tanabe by email...)
- A response from the woman: "メールでも構いませんが、もしもメールで質問したい場合は、メールの件名に「質問」と書いてください。そうすると、先生もすぐに気づくことができます。" (Email is also fine, but if you want to ask a question by email, please write "Question" in the subject line. That way, the teacher can notice it quickly.)
- A message from the man: "このメールの件名に質問と書くべきでしょうか..." (Should I write "Question" in the subject line of this email...)
- A response from the woman: "はい、その通りです。メールの件名に「質問」と書いてください。そうすると、先生もすぐに気づくことができます。" (Yes, that's right. Please write "Question" in the subject line of the email. That way, the teacher can notice it quickly.)

The chat interface includes a standard WhatsApp layout with a green header bar, a profile picture, a name, and a list of messages with timestamps. The messages are in Japanese and discuss email etiquette for asking questions.



桜東風
ジ養
ビ蜂
エと

皆野駅から徒歩で40分

代表社員

岡野 直樹 さん

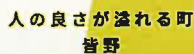
東京部八丈島出張

八丈島出身の奥野さんは奥さんとお子さん2人の4人暮らし。大平平造堂、会社員や個人事業主など様々な職を歴て16年前に喜望峯に移住。2024年2月にオープンした館内風呂（さくらごち）では、ジビエの豚豚加工、キッチンカー、発酵をされており、館内のフラスコ牧場にもお向を提供している。海に囲まれて育った奥野さんだが、今は山を舞台に活動している。

桜 東 風 ～ 春 夢 と ジ ビ エ ～

事務所内蔵
 16インチ液晶（解像：1280×800ドット）
 17インチ液晶、タッチパネル（解像：1280×800ドット）
 液晶解像：1280×800ドット、1600×900ドット
 価格：¥1,280,000（税別）※送料別途見積り
<https://sakuragochi.com>

コロナをきっかけに決めた 皆野町への移住

[illegible]



佐藤 美穂

結婚で子どもはしるしと決まっていますか？

「結婚して子どもを産むつもりです。でも、結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。」



佐藤 大輔



佐藤 美穂

何となく思っているうちに子どもが産まれますか？

「何となく思っているうちに子どもが産まれます。でも、結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。結婚してから子どもを産むと、お金の面で大変なことになると思います。」



佐藤 大輔



皆野 GATTI 皆野食堂

皆野駅から徒歩で15分

オーナー
ふもたに まさみ けいこ
古谷雅己・恵子さん

さいたま市浦和区出身

元々は酒場で2店舗の飲食店を営業されていた吉田さんご夫婦。2024年4月から長野に移住し、10月からGATTI DI TUTTI（ガッティ 動物食堂）をオープンされた。ランチ・ディナー・テイクアウトが楽しめるのらしい。昭和時代のお客さんがわざわざ食べに訪れ、ほど熱い話し合いや、こだわりの置った目を引く絵が魅力だが、何よりもご夫婦の客観性が素敵。

GATTI 吉野食堂

会場の様子



- 出店者一覧 -

秩父玄米納豆本舗

丸信

PIZZA AROMA

奥我

丸山商店

寿司処みよし

ガッティ皆野食堂

桜東風

ホルモンながしま

株式会社デジタルラボみなの
十文字学園女子大学

Freaks Garage

オフィスプラス株式会社

明治安田生命保険相互会社

木彫と絵描

PASTEL KITCHEN

株式会社浅見商会

Mahora 稲穂山

皆野高校

海ノ民話のまちプロジェクト





発行日：2026 年 3 月
発 行：皆野町役場 企画財政課

〒369-1492 皆野町大字皆野 1420 番地 1